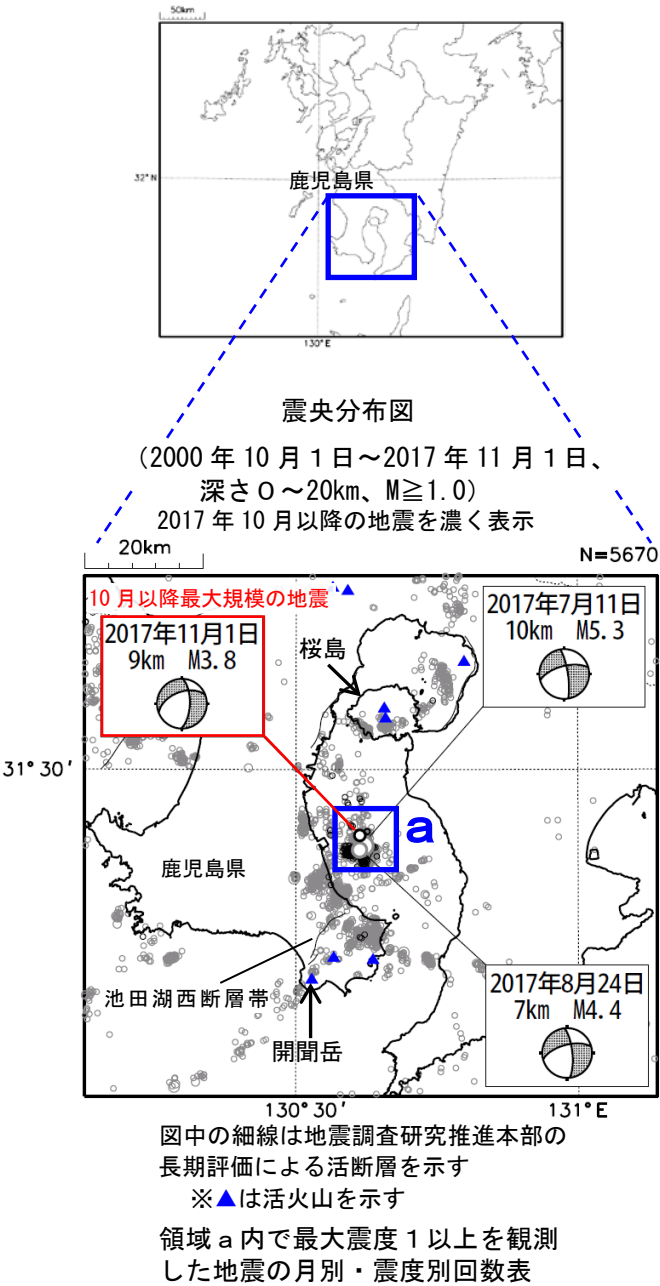


2016 年 12 月からの鹿児島湾の地震活動

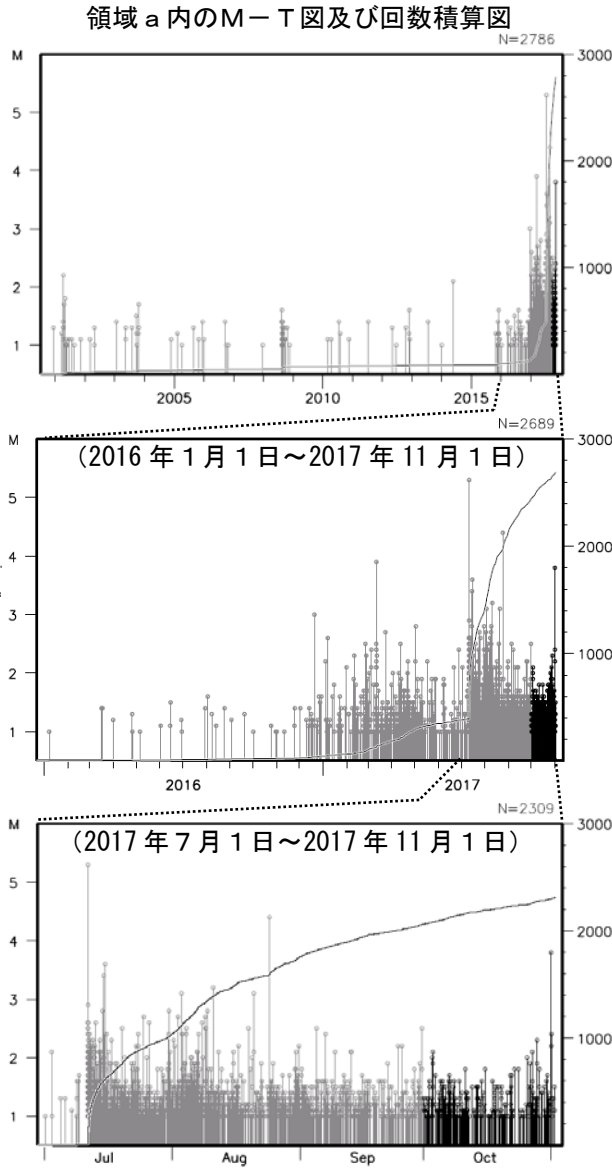


		震 度						合計
		1	2	3	4	5 弱	5 強	
2016年	12月		1					1
2017年	1月	1						1
	2月	1						1
	3月	2		1				3
	4月							
	5月	1						1
	6月	1						1
	7月	18		2			1	21
	8月	16	4		1			21
	9月	4						4
	10月							
	11月				1			1
合 計		44	5	3	2		1	55

(※2016 年 12 月 1 日～2017 年 11 月 1 日まで)

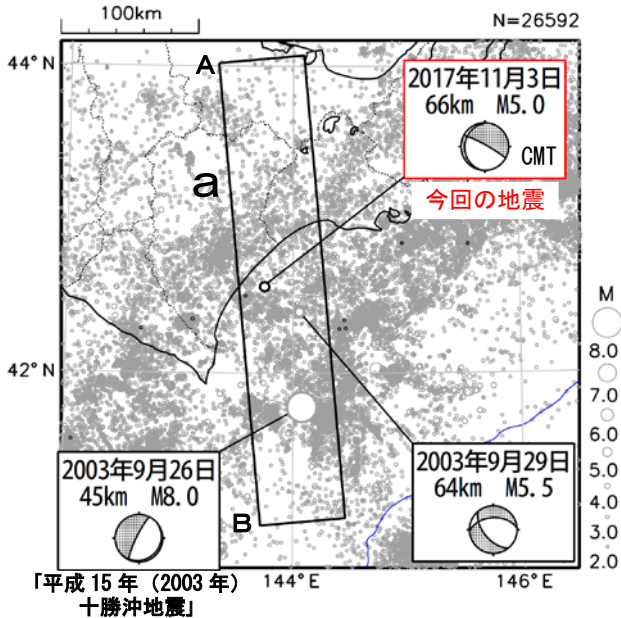
2017年11月 1 日00時46分に鹿児島湾の深さ 9 km でM3.8の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に張力軸を持つ型であった。今回の地震が発生した領域では、2016年12月頃から地震活動が活発になっており、2017年 7 月11日にM5.3の地震（最大震度 5 強、深さ10km）、8 月24日にM4.4の地震（最大震度 4、深さ 7 km）などが発生している。

この地震活動により、2016年12月から2017年11月 1 日までに震度 1 以上を観測した地震が55回発生している（下表参照）。



11月3日 十勝沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2017年11月4日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.0$)
2017年11月の地震を濃く表示

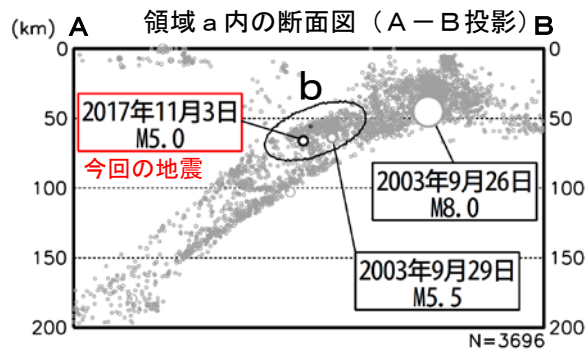


2017年11月3日12時45分に十勝沖の深さ66kmで $M 5.0$ (最大震度4)の地震が発生した。

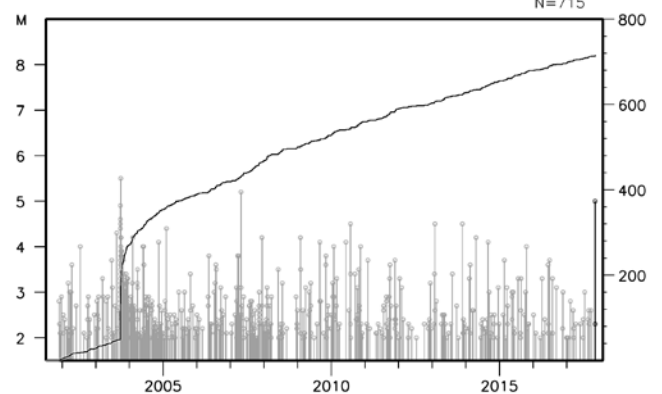
この地震は、発震機構 (CMT 解) が北東-南西方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

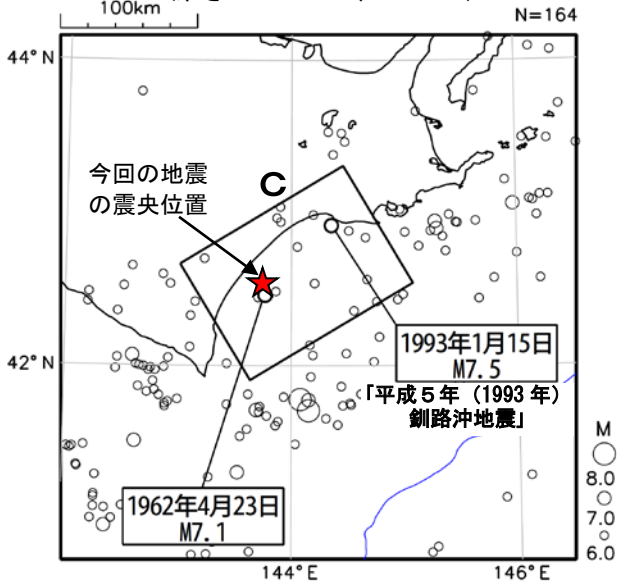
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、「平成5年 (1993年) 釧路沖地震」 ($M 7.5$ 、最大震度6) が発生し、死者2人、重軽傷者967人、住家全半壊308棟等の被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2017年11月4日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

